

目的 私共は、ウーロン茶をラットに給与し、血液中の総コレステロール (Tcho) 及び中性脂肪 (Tg) の消長について観察し、鉄観音 (中国福建省産、AT202) は、Tcho の増加を抑制し、Tg にも若干の抑制効果のあること、また、既に増加している Tcho 及び Tg の減少作用は非常に弱いものであると推定される結果を得ているので、今回は人体で実験を行って吟味した。

方法 健康な女子学生 6 名を被験者とし、I 鶏卵摂取、II バター摂取実験を行った。I、II の食品摂取実験前に、それぞれ 1.5 ~ 2 ヶ月間におたって日常の食生活における血液の分析を行ない対照値とした。実験 I は、卵を 1 日 5 個ずつ 1 ヶ月間摂取させ、その増加量を求め、旧に回復するのを待って、更に卵を摂取しながらウーロン茶を 1 日 500 ml 以上飲用する実験を行った。II はバター (無塩) を 1 ヶ月間、被験者の一日の所要熱量の 20% (29 ~ 47g/日) 給与した。また、その増加量を確かめ、旧に回復するのを待って、バター摂取とウーロン茶飲用実験を行った。

結果 卵摂取 (5 個/日、1 ヶ月間) により Tcho は 4 ~ 7% 上昇するが、Tcho と HDL の比はほとんど変らなかった。Tg は若干減少を示した。卵と鉄観音 (AT202) 摂取は、前述の卵摂取と同様の結果であり、影響は認められない。また、バター摂取 (1 ヶ月間) により Tcho は 16 ~ 21% 上昇したが、Tg は減少を示した。バターと鉄観音摂取時の Tcho は、5% 前後の上昇にとどまった。ウーロン茶に属する他の銘柄 2 種及び、後継茶の一種について同様の追究を行ったが、認められる影響はなかった。